

製品名: 切断型 Bad (D71) ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab08948**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	20kDa

抗原情報

遺伝子名	BAD
別名	BAD; BBC6; BCL2L8; Bcl2 antagonist of cell death; BAD; Bcl-2-binding component 6; Bcl-2-like protein 8; Bcl2-L-8; Bcl-XL/Bcl-2-associated death promoter
遺伝子 ID	64639.0
SwissProt ID	O35147
免疫原	抗血清はマウス BAD 由来の合成ペプチドに対して作製された。AA 範囲: 21-70

背景

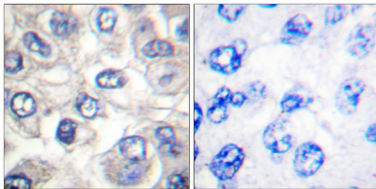
BADによってコードされる BCL2 関連細胞死アゴニストは、BCL-2 ファミリーのメンバーです。BCL-2 ファミリーのメンバーは、プ

プログラム細胞死の調節因子として知られています。BCL2 関連細胞死アゴニストは、BCL-xL および BCL-2 とヘテロ二量体を形成し、それらの細胞死抑制活性を逆転させることで、細胞アポトーシスを正に制御します。BCL2 関連細胞死アゴニストのアポトーシス促進活性は、リン酸化を介して制御されます。タンパク質キナーゼの AKT および MAP キナーゼ、そしてタンパク質ホスファターゼのカルシニューリンが、BCL2 関連細胞死アゴニストの制御に関与していることが判明しています。BAD の選択的スプライシングにより、同じアイソフォームをコードする 2 つの転写バリエーションが生成されます。

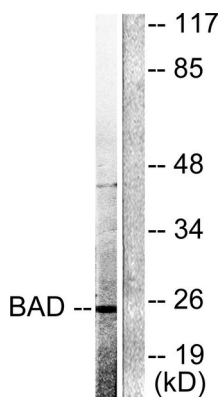
研究分野

幹細胞経路; インスリン受容体; PI3K/Akt; ErbB/HER

画像データ



BAD (Cleaved-Asp71) 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト乳癌組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



エトポシド 25 μ M 60%処理した 293 細胞ライセートの BAD (Cleaved-Asp71) 抗体を用いたウェスタンブロット解析。右レーンには合成ペプチドでブロッキングした。



Cleaved-Bad (D71) ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析